

平成 19 年(2007 年)4月23日

拓殖大学客員教授/軍事評論家 江畑謙介

情報セキュリティ政策会議 第11回会合

議事内容意見書

1:サイバースペースの認識徹底と政府・重要インフラ情報の暗号化

サイバースペースが日常の3次元空間と同じものとの認識がまだ強い

サイバースペースの特性に関する認識の教育徹底が必要

それでも最近の事案を鑑みるに、情報流出の完全防止は難しい

ここから(以前にも提案したが)政府、重要インフラの情報は基本的に

全て暗号化する方針が望ましい(警察庁の対応が参考になる)

2:国際社会で情報セキュリティの積極的主導を

セキュア・ジャパン 2007 では、国際的な情報セキュリティ強化の具体的第一歩としてアジア・太平洋地域での国際協力体制構築に乗り出すべきである

日本の政府主導の形で、ASEAN+、APECなどにおいて情報セキュリティを会議議題に提案してはどうか

(国連安保理事会で環境問題が取り上げられた先例がある)

日本政府主催の各国政府担当者を集めたシンポジウム、セミナーの開催

これにより各国のセキュリティに対する姿勢、取り組みの程度が分かる

3:新しい技術の研究開発

情報セキュリティにおいて、既知の脅威に対する対応・防護手段の実施から、新しい技術、運用法の開発に移行すべきであろう

脅威に対して先手を打つ

恒久的に(基本的に)安全なシステムの開発を目指す

それには独創性(頭を使う)必要がある 柔軟な思考と研究開発態勢を

(了)